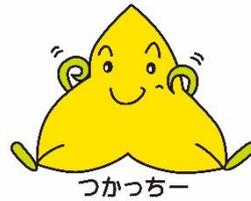




塚越小だより



令和7年度 No.13
令和8年3月2日
蕨市立塚越小学校
048-442-2218

3月は、1年間の総まとめ

6年生は、6年間の締めくくり

6年生のみなさん、保護者の皆様、
ご卒業おめでとうございます

校長 竹越 典子



立春が過ぎ、陽射しに春の訪れを感じるようになってきました。1年生が植えたチューリップの球根から「もういいかい?」という声が聞こえ始め、かわいい小さな芽も土の中から出始めてきました。チューリップもきっと春が待ち遠しいのでしょう、毎日少しずつ、少しずつ成長してきています。

3月24日は、第56回卒業証書授与式、26日は令和7年度修了式となります。今年度は70名の6年生が卒業していきますが、塚越小学校の最高学年として、本当によくがんばりました。塚越小を力強く支えてくれましたね。本当にありがとう。たくさんの友だちと出会い、たくさんの経験をし、うれしかったこと、頑張ったことなど語りつくせない思い出は、みなさんの「心の宝物」です。心の宝物を大切に、中学校生活でも新たな宝物をたくさん作ってほしいと願っています。

卒業生と、保護者の皆様に心からお祝い申し上げるとともに、地域の皆様をはじめかかわってくださった多くの方々にも厚くお礼申し上げます。子供たちは、卒業式を境にして、自立への道をまた一歩大きく歩み出します。心の宝物とともに、自信をもって歩み出すことでしょう。

そして、他の学年の子供たちも、次の学年への一歩を笑顔で踏み出せるように、1年間のまとめに取り組んでいます。学習や生活のまとめをしっかりと行い、次の学年に繋げていきたいと思えます。また、6年生の残してくれたものをしっかりと受け継いでくれることを期待します。

先日の休み時間の出来事です。低学年が鬼ごっこをしていて転んでしまったとき、6年生が「だいじょうぶ?」「ファイト!」「いっしょにあそぼう」と、声をかけ、服についた砂を手ではらってあげていました。転んでしまったその子は、一瞬で笑顔になり「ありがとう」と言い、また遊び始めました。私たちは、心無い一言で落胆し、もう駄目だと、あきらめていた時にかけられた温かい一言で励まされ、元気になることがあります。塚越小では、あちらこちらで、温かい言葉が聞こえてきます。「その一言」の重みを再認識するとともに、今後も笑顔あふれる塚越小学校の伝統を継続し、地域の皆様、保護者の皆様と手を携えて子供たちを育てて参ります。

3月は、卒業していく6年生とともに、令和7年度の総まとめをし、希望に燃える新入生とともに新しい年度を迎えたいと思えます。今年度も、保護者の皆様や地域の皆様にはたいへんお世話になり、ありがとうございました。